



## 第34回 市教組定期大会、開催される！NO.2

今大会で論議されたものです。

### ① 教育予算について（落水代議員）



昨年度、10%減額された学校予算ですが、委員会への再三の要求にも関わらず、今年度も減額されたままの額がきました。議会においては、教育長自らが「教育予算は足りている。」と答弁し、学校現場の声が全く伝わっていないことに驚きました。教育行政の中に、学校予算を削ってでも、市長のアピールしたいことにお金をかけたい人たちがいるようです。

物価高騰で、教材は年度が替わる度に100円単位で上がっていたり、備品では、60000円だったものが70000円になっていたり、大変厳しいものがあります。社会見学のバス代等、保護者負担も増えています。維持でも苦しいのに、減らしていい訳がありません。引き続き、事務職員部だけでなく、市教組全体でのとりくみが必要です。執行部の今年度の具体的なとりくみをお伺いします。

### ② 学校事務職員の待遇改善について（中川代議員）



学校事務職員においては、学校の働き方改革による業務分担の増加、事務補助削減による業務の増加で負担が大きくなっているにも関わらず、昇任の枠が県費のときより削られ、全員の給与が上がっていかない状況が続いています。今回、教員の教職調整額の段階的な増額が検討されていますが、付帯決議に「時間外勤務時間の削減目標」があり、ますますサポート的な職種に業務負担がくるのではないかと危惧しています。学校事務職員の給与改善、事務補助の全校再配置による事務負担軽減も併せて行うよう、要求していただきたいと思います。

また、近年、市教委には10数人もの学校事務職員が向うさせられ、昨年度は1名の事務職員が学校に戻れません、亡くなりました。病休者も増えています。学校事務職員の置かれている厳しい状況をご理解いただくとともに、どの職種もいきいきとやりがいを持って働けるような職場にさせていただきたいと思えます。執行部の対応を伺います。

### 田中書記長の答弁

① 教育予算については、4月に市教委にあげた『春闘期の要求書』の1項目として、「ゆとりある教育の展望が持てる予算を編成すること」の中に、・学校配当予算の増額を行うことをいれました。その後の5月の交渉の場には、教育長や教育次長も出席して、減額されたままでは、必要な物も買えない、教育条件の整備ができない苦しい現状を切々と伝えていきます。もちろん秋の確定交渉にも、継続して要求書の項目に入れるし、毎月の分会長会で配布している「職場実態報告書」にも学校予算の配当についての各分会から出た要望を随時申し入れしていきます。さらに、小宮市議とも連絡をとりながら、実情を伝え市議会で伝えていただくよう、要請していきます。

②今年度も少数職種の置かれている現状を、しっかりと市教委に伝えて改善していくための事務職員部のセクション交渉を2回設定しています。もちろん本体交渉でも、教員の時間外勤務削減によって他の職種にしわ寄せがいかないよう、本務のさまたげになることのないように強く言っていきます。病休者の割合は教員よりも事務職員が多いです。特に事務補助員のいない学校で。全体的な業務量の削減(就学援助などで市教委ができる業務は市教委で)と病休者を出さないためにも事務補助員の全校再配置。そして生き生きと働けるためには、1人ですべてを抱え込んでしまわないよう、まずは管理職の事務職員へのサポートや気遣いが必要なので、きちんと業務も含めてフォローできるように、市教委には訴えていきます。



わからないこと・困ったことがあったら… 何でも気軽にお問い合わせください！

///JTU 北九州市教職員組合 〒802-0072 小倉北区東篠崎3丁目4-1

E-mail:jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp

北九州教育会館 TEL(093)953-0381

